

Enactus Japan2014国内大会
N-project 活動報告

団体概要

名称	N-project		
代表者名	又木 実信		
電話番号	090-4680-8916		
連絡先	miccc@hotmail.co.jp		
人数	14人	設立日	平成26年3月15日
構成大学	金沢大学、金沢美術工芸大学、石川県立大学、神戸市外国語大学、 関西外国語大学		

2 活動概要

① 実施概要

大学生が米づくりから関わる日本酒の商品開発



**若者が、能登(Noto)も農業(Nogyo)も
日本酒(Nihon-shu)も盛り上げる!
=Nプロジェクト**

※プロジェクトメンバーの美大生が案出し。学生による討議でブラッシュアップし決定したロゴ。
能登半島と日本酒をモチーフにデザインしました。

② 里山創成に取り組む基本的な方針

- 1) 酒米を栽培することによって、耕作放棄地を有効活用する
- 2) 酒米を加工し日本酒を開発することによって、米の付加価値を高める
- 3) 米作りから酒造り、商品づくりまでをコンテンツ化し、能登の新たな魅力を発信

その結果能登の農業、能登の日本酒のブランド力を高め、若い世代の新しいファンを開拓します。

③ 背景・現状

世界農業遺産にも指定され、注目を集めている能登地域ですが、近年は過疎化に悩まされ、耕作放棄地も増えています。

また、能登は日本4大杜氏のひとつ「能登杜氏」のふるさととして知られます。能登杜氏は古くから全国の蔵元で、酒造りを行ってきました。しかし最近では若者の日本

酒離れが進み、日本酒文化の衰退も懸念されています。

一方で、県内には日本酒に興味を持つ学生たちも存在します。全国的には地域活性、社会貢献に意欲的な学生が多く、そのような目的で組成された団体、プロジェクトの活動がメディアを賑わせています。



能登の田園風景



能登杜氏



主旨に賛同して集まった学生メンバー（現在14名）

④ 活動内容

県内在住の大学生を中心メンバーとして発足したプロジェクトで、大学生が米づくりから関わる日本酒の商品開発を行います。

1) 商品開発

酒米の栽培から始まり、その米を使っの酒造り、商品のデザインやプロモーションまで。大学生たちに農業、酒造り、能登の現状を体験してもらいながら、彼らの発想で同世代の若い層をメインターゲットとする新しい日本酒を企画します。



学生メンバーが立案したコンセプト
若者においしさを気付かせる日本酒
「実は、好きでした」



※5月酒米五百万石を田植え

2) プロモーション

プロジェクトの進行状況をコンテンツ化し発信します。
SNSなどの活用で情報を広く拡散、話題づくりを行います。
プレスリリースなど、メディアへのアプローチも行います。
(※先日の田植えの様子は北國新聞、NHK金沢の取材を受け発信されました)

3) 販路拡大

東京の学生団体、プロジェクトに賛同する有力飲食店などに向けた、能登視察ツアーを実施します。
また東京・金沢でイベントを実施します。

KAKUMA NO HIROBAが手掛ける学生×里山フリーマガジンatetote（県内各大学、サークルKサンクス他で15,000部配布）でも関連記事を掲載予定。

⑤ 生業（なりわい）の創出を目指す商品・サービスの特徴

地域への波及効果

- ・次年度以降、酒米の生産量拡大に際しては耕作放棄地の開墾を予定しています。本プロジェクトの日本酒を拡販することで、耕作放棄地の再生を進め、能登の里山の景観を守っていきます。
- ・酒米を栽培し、それを原料に能登杜氏が酒造りを行うことで地域に密接に関連した高付加価値商品を生み出します。
- ・話題性のある商品開発で、地域のイメージアップにつなげます。
- ・大学生主体のプロジェクトですので、地域住民と若者とのコミュニケーションを生み出します。
- ・学生たちに農業、能登杜氏、酒造りといった能登地域に根付く文化を伝達、継承していきます。



耕作放棄地の再生

地域と交流（イメージ）

地域関連の付加価値商品

学生を主役とする本プロジェクトを実施することで、若い世代の農業、日本酒の新しいファンを開拓するだけでなく、若者を地域に引き込むことで、地元志賀町を元気にしていくことも狙っていきます。

使用する里山里海の地域資源及び活用のためノウハウ

米の栽培は、志賀町で農薬を使用しない、こだわりの米作りを行っているゆめうらが耕作。酒造りは能登杜氏のふるさと、能登町宇出津の数馬酒造が能登杜氏の手で行います。

商品プロデュースは学生が中心となって進めますが、商品デザイン、プロモーション等のバックアップは、全国1200社の蔵元と直接取引の実績を持つ、日本酒ラベル印刷における国内ニッチトップの高桑美術印刷が支援し、商品のクオリティを担保します。

また同社が運営する日本酒応援ファンサイト「いいね！日本酒。」（いいね！数7,500を超える、facebookページの中では国内最大級の日本酒関連サイト）を活用することで全国の日本酒ファンに向けて本活動を発信していきます。

学生たちの活動に関しては情報誌atetoteの発刊や学生インターンシップのプロデュースなど石川県内の学生と企業をつなぐプロジェクトを多数手掛けるKAKUMA NO HIROBAがサポート。学生の発想、行動力を最大限事業に活かします。

商品開発の過程で、若者がどんな考えを持ち、どんなものに興味を持つかが共有されることで、今後、日本酒に限らず、今後、若者にアピールできる地産商品づくりのノウハウ・ヒントが得られるものと考えます。

⑥ 活動目標

商品開発：販売目標1,000本

金沢及び東京有力飲食店に、「学生が開発した若者向け日本酒」をアピールし商品採用
ネット通販で全国の学生や日本酒ファンにアプローチ、アイテム数を拡大しリピーターの取り込み

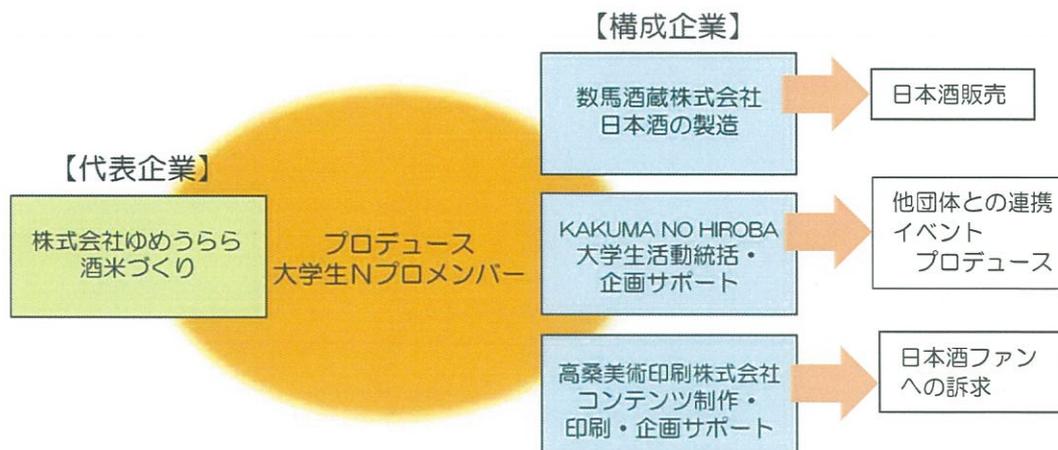
若者に農業、日本酒の魅力・能登の魅力を訴求

「能登、農業、日本酒ってすばらしい」と若者に思ってもらえる情報発信
耕作放棄地の再生、有機農法の拡大による生物多様性の保全進行

⑦ 活動計画

実施年	実施内容
1年目 (H26.3 ~ H27.3)	プロジェクト立上げ、活動基盤整備 学生主体の新商品企画の実施で新ブランド確立、商品完成 体験プログラム及びイベント実施で情報発信 プロジェクトに賛同する飲食店、販売店への販促で販路開拓

⑧ 活動実施体制



⑨ 活動の実施場所

(場所名・住所)

酒米栽培：夢うらら（羽咋郡志賀町仏木カ-2）

日本酒製造：数馬酒造（石川県鳳珠郡能都町宇出津ハ字36番地）

販売：関東及び石川県内の飲食店、酒販店及びネットショップなど